



2023年2月1日発行

発行 仙北市議会
編集 仙北市議会
広報編集 広報編集
特別委員会 特別委員会



新春のごあいさつ・
第7回臨時会
第8回定例会
一般会計補正予算
一般質問

P2

P3

P4

P5~12

総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会
産業建設常任委員会
いきいき広場・人事案件・
全国大会出場・編集後記

P13

P14

P15

P16

■メリークリスマス! 角館西保育園の元気なこどもたち

新春のごあいさつ



仙北市議会議長
黒沢 龍己

新年あけましておめでとうござい
す。市民の皆様におかれましては、健
やかに新春をお迎えのことと、心よりお
慶び申し上げます。

日頃から、市政運営および議会運営
には、多大なるご理解とご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。

さて、いまだに続く新型コロナウイルス
感染症は、終息が見えず、皆様を
不安にさせ、経済活動にも大きく支障
をきたしております。

私たちの生活を一変させた、新型コ
ロナウイルス感染症は、まだまだ油断
することはできませんが、新しい生活
様式として基本的な感染予防対策を
しっかりと図りながら、社会活動を再
開するなど、ウィズ・コロナでこの難
局を共に乗り越えましょう。

昨年に引き続き、国や県の支援策と
ともに、仙北市としても、限られた予
算ではありますが、皆様の不安を少し

でも払拭できるよう、支援策を行って
います。

市議会は、昨年の市議會議員一般選
挙から、定員18名から2名減の定員16
名として新たにスタートしました。ま
た、昨年10月には市民の皆様との意見
交換会を再開し、多くの皆様の意見を
伺い、市政に反映させるよう活動して
おります。

これからの議会は、皆様の多種多様
な多くの意見を市政に反映させること
ができるように、議員一人ひとりが資
質の向上を図るとともに、市民に寄り
添い、より身近な、開かれた議会となり、
市民の皆様への負託に応えられよう、
その責任を果たさなければなりません。

市民の皆様からも、是非、本会議や、
委員会を傍聴していただき、議会で議
論された経過を踏まえ、自らの代表と
忌憚のない意見交換を行うなど、積極
的に議員と関わっていただき、皆様の
ご意見をお聞かせいただきたいと思います。

結びに、本年も変わらぬご指導、ご
協力のほど、よろしくお願い申し上げ
ますとともに、市民の皆様のご健康と
ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年
の挨拶いたします。

令和5年1月吉日

— 第7回臨時会 (10/31開催) — — 一般会計補正予算(第8号)可決 —

物価高騰対策として全市民に5,000円の商品券配付！
補正額3億2,963万3千円を可決 累計217億6,448万円

第7回臨時会が10月31日に開催されました。燃料価格や物価高騰対策として全市民に5千円の商品券を配付する事業費や、住民税非課税世帯と家計急変世帯へ6万円の支援金を給付する事業費などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算(第8号)が審議されました。

田口市長の市政報告では、田沢湖でリーフレタスの生産工場の建設を目指していた「ハレタス田沢湖」計画を断念したことを明らかにしました。

第7回臨時会 可決された主な議案

- ◇令和4年度一般会計補正予算(第8号) ※全会一致で可決されました。
- ・報告事項 専決処分第9号 市道の木に自動車接触による損害賠償金の支払い(5,500円)
- ・報告事項 専決処分第10号 公用車の民家網戸破損による損害賠償金の支払い(16,830円)

令和4年度一般会計補正予算(第8号)の主な事業

仙北市生活応援商品券事業費	1億3,322万円	全市民1人につき5,000円分の商品券配付
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業費	2億2,445万円	住民税非課税&家計急変世帯へ6万円給付
通知カード・個人番号カード関連事務費	314万円	マイナンバーカード取得率向上のため要員増
仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金	△3,118万円	申請が少なく減額補正

— 第8回(11月)定例会 —

一般会計補正額 7億3,281万6千円を可決 累計224億9,729万6千円に

**市職員の定年が2年に1歳ずつ引き上げられ令和13年度には65歳に！
ふるさと納税の寄付金が好調！寄付金の基金積立金を4億円増額し16億円を見込む**

第8回定例会が11月28日から12月16日まで19日間の会期で開催され、原油価格高騰などで影響を受けている介護保険施設や障害者支援施設への光熱費助成などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算(第9号)や市職員の定年を65歳にする条例改正案、角館総合病院の精神病床を8床減らす条例改正案など、報告関係2件、条例関係12件、予算関係9件、その他1件、指定管理者関係3件、人事関係1件の計28件が審議され、すべての議案が全会一致で可決・同意されました。

初日には、県人事委員会の勧告に伴う一般職の勤勉手当と特別職等の期末手当の改定に関する条例改正案を可決し、雲沢財産区管理委員選任案に同意しました。

最終日には、追加議案として、ふるさと納税の寄付が想定を超えたため、基金積立て4億円と、返礼品などの経費の増額2億5,491万円を盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算(第10号)と議員提出議案として、医療・介護・保育・福祉の労働者の大幅な賃上げや介護保険制度の改善を求めるなどの意見書3件が提出され、全会一致で可決されました。

■第8回定例会 可決・同意された議案

※全ての議案が全会一致で可決されたため議員賛否表の掲載はありません

- 報告事項 専決処分第11号 堆肥センターの散布機が共同アンテナの支柱破損による損害賠償金(176,000円)
- 報告事項 専決処分第12号 田沢湖マラソン参加者の車に看板が倒れた損傷による損害賠償金(139,909円)
- ◇県人事委員会勧告に伴う一般職の勤勉手当及び特別職、病院管理者、議員の期末手当の改定関係条例(計4件)
- ◇仙北市職員の降給の事由に関する条例制定について
- ◇仙北市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市職員の懲戒の方法及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算(第9号)・(第10号)
- ◇令和4年度仙北市集中管理特別会計補正予算(第2号)
- ◇令和4年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ◇令和4年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ◇令和4年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算(第2号)
- ◇令和4年度仙北市病院事業会計補正予算(第1号)
- ◇令和4年度仙北市温泉事業会計補正予算(第1号)
- ◇令和4年度仙北市水道事業会計補正予算(第1号)
- ◇令和4年度仙北市下水道事業会計補正予算(第2号)
- ◇秋田県及び仙北市における生活排水処理事業の運営に係る連携協約の締結に関する協議について
- ◇公の施設の指定管理者の指定について(仙北市民浴場 東風の湯→株おもてなしせんぼく)
- ◇公の施設の指定管理者の指定について(仙北市外町交流広場→立町商店会)
- ◇公の施設の指定管理者の指定について(かたまえ山、山の幸資料館、森林学習交流館→田沢湖自然体験センター)
- ◇仙北市雲沢財産区管理委員選任につき同意を求めることについて(阿部雄咲 75歳)

【意見書】

- 議員提出議案第5号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書
- 議員提出議案第6号 医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める意見書
- 議員提出議案第7号 介護保険制度の改善を求める意見書

私立保育所、介護保険施設、障害者支援施設に光熱費を助成!

令和4年度一般会計補正予算(第9号・第10号)の主な事業

一般農業委員会総務費(令和3年度の交通費)	31万円	農業委員及び農地利用最適化推進委員への未払い分
介護保険施設等物価高騰対策事業費	993万円	原油価格高騰等の支援策で介護保険施設への光熱費の助成
障害者支援施設等物価高騰対策事業費	74万円	原油価格高騰等の支援策で障害者支援施設への光熱費の助成
保育所等光熱費価格高騰対策事業費	310万円	原油価格高騰等の支援策で私立保育所への光熱費の助成
保育所等給食費価格高騰対策事業費	87万円	食料品価格高騰の支援策で私立保育所への給食費の助成
後期高齢者健康診査等事業費	△15万円	コロナ禍による出控え等による健康診査等の減少による減額
ふるさと仙北応援基金積立金	4億円	ふるさと納税の寄付額の見込みを4億円増額による積立金の増額
ふるさと納税ふるさと便事業費	2億5,491万円	ふるさと納税の寄付額増額による返礼品や送料の経費の増額
介護保険特別会計繰出金	2,675万円	にしき園における利用者減少等による一般会計からの繰出金の増額
下水道事業会計補助金	1,100万円	電気代高騰等による動力費の増加などによる補助金の増額

本会議・予算常任委員会での主な質疑

補聴器購入の補助金を令和5年度実施に向けて準備中

質問 後期高齢者健康診査で聴力検査も実施して欲しい。また、補聴器購入時の補助について伺う。

答弁 後期高齢者健康診査については、高齢者医療の確保に関する法律に基づいており、聴力検査については検査項目に指定されていない。補聴器購入時の補助金は、来年度実施に向けて準備中である。

にしき園への一般会計からの繰出金が昨年に続いての増額補正について

質問 一般会計からにしき園へ2,675万円の繰出金は、にしき園での利用者の減少が要因との説明があったが、にしき園の入所待機者の現状と園内での対応策について伺う。

答弁 昨年度と同様にコロナ禍の影響を受けており、病院のクラスターや介護施設等の濃厚接触等により、病院や施設からの受け入れストップにより、入所予定者が入所できない事態が続いた収入減や、会計年度任用職員の退職により、職員4名を採用した人件費の増額などにより、一般会計からの繰出金が必要になった。入所待機者は、11月30日現在で83名いる。スムーズに入所できるための手続きのスピードアップを図り、一人でも多く1日でも早く入所できるように現場の受け入れ体制強化を図り、今まで以上に医療、介護、事務方の各部門が連携して、利用率を確実に向上させる努力をしていく。

農業委員、農地利用最適化推進委員への交通費(令和3年度分)未払いについて

市長 農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様が各種会議等に出席した際に支払う交通費を令和3年度に支払いしていない事実が判明した。本定例会の補正予算で支払う。再発防止策として、1年分を一括して支払っていたが、毎月毎に支払うこととし、職員相互にチェックする二重確認体制を徹底する。

市職員の定年を 65歳に段階的に引き上げる

来年度から2年に1歳ずつ引き上げ令和13年には65歳に

質問 定年引き上げられることにより、新規採用枠が減るなどの影響はないのか。

答弁 定年の延長は、少子高齢化が進み生産年齢人口が減少している中で、複雑化する行政課題の対応への観点から能力と意欲のある高齢期職員を最大限活用しつつ、次の世代へ知識、技術や経験を継承していくことが期待されている。一方で中長期的な視点で職員の年齢構成を考えたとき新規採用数も毎年一定程度必要である。定年延長により採用枠に少なからず影響は出てくると思われるが、新規採用についても計画的に進めていきたいと考えている。

下水道事業運営について県と 仙北市が連携協約締結

官民出資会社を設立し、下水道に係る事務作業を補完

質問 現行の下水道事業のどのような業務がどうなることで、どのようなメリットがあるのか。

答弁 連携協定を締結する業務は、経営戦略やストックマネジメント計画の策定に関する事務、設計・積算、工事監督等に関する事務、技術研鑽のための研修等に関する事務などである。メリットは①経営戦略やストックマネジメント計画の見直し等に関して全県の統一した考えに基づいた実効性の高いものになる。②DXを取入れ官と民で業務を効率化し、一般企業よりも価格面でのメリットがある。

③技術職員が不足している市町村は、工事の設計・積算、工事監督等をこの会社に委託することで公共施設の品質を維持管理できる。

秋田内陸線、今後の支援の在り方はどうなるのか



養生会 武藤 義彦 議員

市長

市民にとって使い勝手の良い、暮らしやすい公共交通を目指す

秋田内陸線の市民意識調査について

質問 市民意識アンケートは、仙北市独自のものか、また、対象者を1,500人とした理由は何か、この先、調査結果を踏まえて議論をどのように進めていくか伺う。

答弁 今後の内陸線との適正な関係について検討するということで仙北市独自で実施したアンケート調査である。対象者を1,500人とした理由は、令和4年10月1日現在の人口から許容誤差5%、信頼度95%とし800程度のサンプル数が必要であり、回収率を50%とし1,500人とした。集計の結果、「支援を続けるべき」「仙北市民の乗車実態や観光誘客効果に見合った支援額に減らすべき」「支援を打ち切るべき」の3択の回答のうち、3地区ともに「仙北市民の乗車実態や観光誘客効果に見

合った支援額に減らすべき」と回答された方が最も多く、約56%だった。一方で「支援を続けるべき」が約27%、「支援を打ち切るべき」が17%という結果だった。今後は、このアンケート結果や地元住民の声を踏まえて関係機関と協議を進める予定である。

質問 過去に損失補填の負担軽減策として減便等の検討があったか、また、株主総会で4者合意の在り方を議論されたことがあったか伺う。

答弁 減便等の検討については、4者合意書では、経常損失額目標を達成できない場合には、運行本数の削減等を行うことが出来るとなっており、昨年、利益実績の乏しい

便を減便したが、少数であり経常損失額に大きな影響を与えるものではなかった。内陸線は、車輛や鉄道敷の維持管理、運行費用は年間約5億円と莫大となっていることから、多少の減便では収支の改善の効果が表れにくい経営構造となっている。平成22年に締結された4者合意については、当面の間という表現による無期限であり、前市長を含め株主総会、幹事会などで4者合意の具体的な内容については、これまで議論されたことはないと認識している。

仙北市民にとって今後の公共交通のあるべき姿を積極的に模索して、検討していきたい。

森林保全について

質問 国では森林環境譲与税の配分見直しを検討しているようだが、現段階で情報はあるか。また、森林所有者への意向調査を実施したが、この先の活用法について伺う。

答弁 現在は、国の予算500億円の内、仙北市には約7,200万円の交付金を受けており、主に個人や法人の所有する私有林、人工林の

管理に活用している。令和元年から配分されている譲与税について、情報共有を図ったところ、現段階では配分見直しの情報は無いという回答だった。

意向調査後、林業経営が見込まれない森林については、仙北市森林整備計画に基づいて間伐等の管理について西木地区を中心にを行っている。

また、令和4年5月に仙北市森林環境贈与税検討会を設立し、譲与税の使途についての検討、近隣の動向を見ながら仙北市の事業についてマッチングを図り、仙北市としてのガイドラインを現在作成中である。

半農半Xについて

質問 半農半Xとは、自分の仕事を続けながら農林漁業に従事する兼業の形だが仙北市でも、農地、空き家などの活用を含めて検討してはどうか。

答弁 空き家には農地付も多く、移住者は、農作業等に興味ある率も高く、一つの材料になるものと考えている。

(中村和彦記)



■毎年決算赤字額の1/4を仙北市が負担している秋田内陸線をどうするか



西宮三春 議員

防災力の向上と子育て支援政策の見直しを！

市長

防災士の育成を進める
来年度より新たな育児応援プロジェクトを立ち上げる

防災士の育成について

質問 県が進める防災士の養成に対し、市の計画を伺う。

答弁 来年度から始まる県の自主防災力強化事業において市から2名推薦し、受講者に対して教材費や受験料等の補助を検討していく。

質問 防災士取得後の活動についてどのように考えているのか。

答弁 自主防災組織が未結成の町内会などに対して、結成促進の働きかけを行い結成を支援すると共に、防災教室などへ派遣し、スキルアップ支援など多岐にわたり活動してもらおう。

質問 防災士を今後何名まで増やしていくか。

答弁 大仙市の例では1500人の防災士を育成したことから、人口規模を比較し適正な比率での取得を目指していく。

質問 自主防災組織の推進に対する計画をどのように考えるか。

答弁 現在市内に37自主防災組織が結成されており、結成率は15%と低いことから令和7年度まで結成率30%を目標とし、防災士の資格取得者が

結成支援や活動が停滞している組織に対し、防災アドバイザーとして活性化の支援を行っていく。

質問 避難所開設にあたり検温などの感染対策がされていないが、今後どのように改善していくのか。

答弁 今後避難所開設の際は、確実に非接触型の検温器やアルコール消毒液を備えるなど、避難される方へ不安を与えないように対策を行う。

子育てファミリー支援事業と在宅子育てサポート事業について

質問 どちらの事業も交付額より精算額が低く、交付された1万5,000円のサポート券を使い切れない現状について市の見解を伺う。

答弁 ファミリーサポート券については年度途中で交付するため、有効期限までの期間が短かった場合や、市外転出により対象外となる等の原因が考えられる他、取り扱い店舗、サービスが限られているため利用しづらい事も要因として考えられ

る。それらを踏まえた上で市単独事業の在宅子育てサポートを廃止し、より利便性の高い育児応援プロジェクトを来年度より開始し、現金給付に切り替えることを検討している。

質問 この事業に対し、利用できる店舗、施設の詳細が記載されておらず、わかりにくいことからホームページに掲載してはどうか。

答弁 スマホ等で確認できるように市のホームページやセグメント配信に掲載し、利便性を改善していく。

質問 おむつ、おしりふき、粉ミルク、離乳食など、毎日使うものにも利用できないか。

答弁 現金給付にすることで利用者の利便性改善につながる

と考える。さらに県と共同のファミリーサポート券については、来年度からおむつ、おしりふき、ミルク等も対象サービスに追加できるように、利便性向上に向けた検討をする。

質問 予防接種終了後の会計時に申し出ると、サポート券の使用ができないという話を聞いたが、今後どのように改善していくか。

答弁 医療機関では受付時にサポート券の利用を申し出なければ利用できない事例があったと思われる。またパンフレットにもその記載がないため発生した。このような不憫が生じないように注意書きを記載するなどして改善していく。

(澤田雅亮記)



■現金での給付が検討されている子育てサポート券

市職員の待遇改善による 魅力ある職場の創出を！

中村和彦 議員



市長 改善できるという自信を持って取り組む

不登校児・別室登校 児の対応について

質問 小・中学校の現状と、どのような指導、学習を行っているのか。また、保護者とのコミュニケーションはどのようにしているのか。

答弁（教育長） 不登校は小学校で3名、中学校で16名（内3名は別室登校）である。コロナ禍により全国的に増加傾向にある。本人及び保護者とは、家庭訪問や電話連絡により、状況を確認しつつ学校との繋がりを保つと共に、学習についても個別に対応している。

質問 スペース・イオの活用状況についてはどうか。

答弁（教育長） 学校に登校できない生徒や学校と併用して活用している生徒が7名在籍している。指導員3名とカウンセラーが配置され、個々に指導・支援を行っており、7名全員が進学を目指している。

仙北市職員の待遇改善について

質問 再任用職員の手当に、寒冷地手当がないのは何故か。また、県内でも低額な管理職手当の見直しをする考えはないか。

答弁 地方公務員の給与は、国家公務員に準じて定めており、再任用職員の寒冷地手当は支給されないことになっている。

答弁（副市長） 仙北市の管理職手当が低くてびっくりしたが、財政を立て直して管理職手当が向上する方法を検討したいので、もうしばらく待つて欲しい。



■角館高校定時制校舎右側にある「スペース・イオかくのたて」

質問 職員の日直業務について委託はできないか。また、待遇等の改善により採用試験の競争率が20倍にも50倍にもなるような魅力ある職場にして欲しい。

答弁 市民サービスの低下にならないように慎重に検討したい。私も多くの若者が憧れるような職場のトップでありたいし、今後の様々な取り組みで改善できるという自信を持っていて、もう少しの猶予をいただきたい。

空き家及び倒壊家屋の対策を

質問 仙北市内には空き家、倒壊寸前の家屋、すでに倒壊している家屋がいたるところに見受けられるが、どのような対策を講じているのか。

答弁 空き家は484戸内、危険老朽空き家は42戸である。危険な空き家は職員が定期的に巡回しており、所有者に対して、適切な管理を助言・指導している。

質問 空き家解体の補助金等を紹介するなどして、早めに解体するよう助言・指導したかどうか。

答弁 危険老朽空き家の上限50万円の解体補助に加え、令

和3年度から通常空き家も上限20万円の解体補助を実施したこと、解体件数が増加している。解体補助や空き家バンク登録などを広報に掲載したり、固定資産税の納税通知書にチラシを入れるなどして周知を図っていく。

令和5年度当初予算について

質問 予算の基となる歳入の確保をどのように行うのか。

答弁 実質的交付税は削減の見込みであり、ふるさと納税の強化、事業者の財政状況改善による市税増収、遊休資産の売却、特別会計の収支改善などにより歳入の確保に努めたい。

質問 起爆剤となるような政策で、明るく、楽しく、元気な仙北市になるような、市長就任2回目の予算編成に対する見解を伺う。

答弁 起爆するための火薬を買うお金をためなければならぬ。市税等の確保、遊休資産の処分、すべての事業見直しによる支出抑制と効率性の高い事業の実施により財政状況を改善する。

（高橋輝彦記）

用語解説

スペース・イオとは…不登校であるが、進学を希望する中学生に、安心して過ごせる「心の居場所」を提供して学習指導を行い、学校への復帰にもつなげる施設。角館高校定時制校舎内にある。



澤田 雅亮 議員

角館武家屋敷の火除け地を有効に活用できないか

市長

伝建群と一体の立地と歴史的背景を持っており、他の財産管理地と管理手法が異なる

武家屋敷の火除け地の有効活用について

質問 冬期間雪捨て場として使われており、市民の暮らしに有用と思うが、雪解け以降に使用しないのはもったいない気がする。伝建群の隣接地と捉えれば、起業で頑張りたい人やチャレンジしたい人が活用できる場所ではないか。市がガイドライン・要綱を作ることが必要ではないか。

答弁 現在、火除け地復元検討委員会で議論している。火除け地は、伝建群と一体の立地と歴史的背景を持って

いる。武家屋敷の入り口、観光の中心地として観光商業活動で関係波及する部署が多い。通常の財産管理地とは明確に、管理手法が異なる。一時使用の方針、考



■今は雪捨て場として 暮らし応援の火除け地

するための、要綱・ガイドライン等は特にない。

情報の伝達と仙北市広報について

質問 市民や企業が市の施設を利用する際の使用料を確認できる一覧表をホームページで知ることができないか。施設使用料にばらつきはないか。市民や企業側からして、知りたい情報が手に入りにくいので、見やすい、探しやすい内容のホームページに変える考えはあるか。

答弁 現在、公共施設利用料金を一覧表で整理したものはない。各施設の利用料金は統一されていない。ホームページの使い勝手の悪さを自覚しているので改善をしていきたい。

質問 現在、広報は月2回の発行で、年間予算は、約1,200万円になっている。このまま続けていくのか。白黒にするなどスリム化できないか。白黒にした場合、料金の比較はどのようになるか。

答弁 月2回カラー印刷での発行は、一般市民から、市の財政状況を考えると分不相応と指摘されることがある。広報一冊の発行費は約47円であり、このままいくと光熱水費や燃料費の高騰等で1,700万円ぐらいになる。令和5年度は、月1回の発行を検討している。白黒にした場合、3割削減(500万円)できて、現行の1,200万円ぐらいで発行できると考えている。

質問 広報が、市民の手に渡る方法を、将来的には公民館、スーパードなどの一角に置き、市民に持ち帰っていただくようにすると、配達にかか

る経費が削減できるのではないかと。それぞれの捉え方があると思う。高齢者一人世帯の方にはしっかりと配達をして情報を提供していく必要がある。スマホを活用できる世代には、インターネットを活用した広報発行ができると思う。少しずつ在り方についても検討していく。

武家屋敷・田沢湖の観光地開発について

質問 武家屋敷は、子供向けの遊び場がないのでファミリー向けではなく、田沢湖は湖畔の周りの木々の間には、雑草が生い茂り景観が悪い。今後、どのような方向で進むのか。

答弁 角館地域は歴史や文化、田沢湖は湖畔・湖面での自然活動などエリアの特性を生かし互いに補完しあい、観光客の市内流動を押し進めていきたい。田沢湖は、日本一の深さを持つ美しい湖であり、クニマスがいた唯一無二の強みを生かして、環境教育・自然活動の聖地として名を馳せるような観光地になるようにしたい。

(平岡裕子記)

持続可能な仙北市を創るために、子育て及び若者関連の施策をさらに推進すべきだ

田口 寿宜 議員

市長 効果的な施策をしっかりと展開していく

持続可能な仙北市を創るために

質問 産業振興基本条例が制定され、その下で産業振興に係る様々な施策が展開されているが、最近の社会情勢の影響を受け、厳しい現実を突きつけられているのが実情である。地域産業が元気になり、若者がこの地で根付いてしっかりと働いていける環境を、民間団体を含む関係機関と連携を図りながら、改めて創っていくかなければならないが、現実を踏まえ、かつ未来を見据え、この条例見直し手続を行った上で条例改正に向け考えるときが、今、来ているのではないかと考えるがどうか。

答弁 地元企業を振興していかなければ、仙北市の未来はないという強い思いで、産業振興基本条例を実態の伴ったしっかりと地域企業を支援できる条例にブラッシュアップする決意で取り組みたい。

質問 進学等で地元を離れた若い世代が、卒業後、帰ってきてきたいという動きが出てきている。しかし、働く場所について、どこにどのような相談したら良いのかという声を聞

く。

地元企業、あるいは学んできたことを十分に生かせる企業の紹介やマッチング等について対応し、その背中を押す窓口を設置し、若者をサポートする体制を構築すべきと考えられているがどうか。

答弁 地元就職を希望する若い世代に対する情報発信として、市ホームページのハローワーク大曲及び角館の求人情報を毎週掲載している。

市内企業に対して助言や支援を行いながら、企業それぞれの魅力を積み込んだPR動画をはじめとする企業情報を仙北市ホームページ上にて発信することを検討し、さらには市役所内に求職者と企業をマッチングさせるための就職相談窓口の設置について検討する。いずれも関係団体、企業と情報交換及び協議を重ね、一人でも多くの地元就職希望者が就職し、定住につな



■子どもたちは地域の宝物！

ら出生数減少に歯止めをかける結果となっていない。

意見等を参考に、これまでの市内子育て世帯からの出生数増加策だけでは人口減少に限界があり、Aターンする地元出身者や移住者を増やすことによる出生数増加に力を入れる少子化支援策へ転換が必要と考えている。少子化が仙北市存続に関わる重大危機と認識し、子育て世帯の保護者、企業経営者等も交えて、効果的な少子化対策を検討するために、仙北市幸福度ナンバーワンプロジェクトを立ち上げ、官民協働で全庁体制での少子化対策に取り組んで行く。

住民の足の確保について

質問 田沢湖病院と角館総合病院を結ぶ交通アクセスの要望がある。検討すべきではないか。

答弁 角館総合病院から田沢湖病院までのアクセスも含めて、市内運行業者と提携して公共交通デマンド化を検討していくなど、引き続き市民の使い勝手の良い公共交通機関の整備に努めたい。

(真崎 寿浩 記)



高久昭二 議員

学校給食の完全無償化の考えはないのか

教育長 財源確保を念頭に置き検討していきたい

幸福度日本一の仙北市を目指す田口市政の諸問題について

質問 角館武家屋敷整備促進と今後の課題として、旧芦名家兵具庫保存、修景並びに佐竹家旧庭園について問う。

答弁 仙北市指定有形文化財旧芦名家兵具庫は、平成元年4月14日に指定、所有者及び管理者は宗教法人天理教桂城分教会となり、経年劣化による修理について過去に協議を行った。緊急的に最低限の安全対策を講じ、平成25年には建造物調査、文献調査を実施し、古材が見当たらないとの調査結果が示されており、仙北市文化財保護審議会で慎重審議の結果、令和4年4月26日付で文化財指定解除の答申がされ、市では所有者と協議を重ねている。また、同敷地内にある庭園については、所有者の意向を確認し対応していきたい。

学校給食の完全無償化による子育て支援を

質問 学校給食の完全無償化に向けた取り組みと保護者負担軽減について問う。



■栄養満点のおいしい給食を食べる子どもたち

答弁 (教育長) 仙北市の1食の給食費単価は、小学校が283円、中学校が319円で運営、合計7,941万円ほどが給食費収入となり、賄い材料費の財源とされている。現在、コロナ禍における子育て世帯の保護者負担を軽減し、仙北市学校給食応援事業として、令和2年度から給食費の減免を行っている。このような取り組みは仙北市と井川町だけで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用している。今年度、物価高騰が続く中、食材費高騰分の賄い材料費、光

熱水費を補正予算で対応し、これら高騰分を保護者にさらなる負担を求めず、給食の提供を心がけている。現状では、無償化の前に、高騰分を市の予算でどのように乗り越えるかが最大の課題となっている。

今後も国の動向を注視しながら財源の確保を念頭に置き、市当局と連携しながら給食費無償化について検討していく。

仙北市税金収納業務に係る諸問題について

質問 コロナ禍、物価高騰などにより納税できない市民もいる。税務課は督促や滞納者への強制執行の権限があるが、分割納付を認めておきながら予告通知なしに差し押さえをした理由は。

答弁 差し押さえに至るまでに、納期限までに納付がない場合、督促状送付後、連絡をいただいた場合には、納税相談等、事情を伺う機会を設けている。それでもなお、納付や連絡がない場合には、財産調査を行い、差し押さえ可能な財産を発見した場合には差し押さえに進むことになる。

納期内に納付していただいている納税者の皆様との公平性を保つためにも必要な処分であると考えている。

質問 3庁舎に納税の相談窓口を設ける考えはあるか。

答弁 (税務課長) 3庁舎に税務課の職員が待機して納税相談の場所を設け、相談を受けるのが望ましい姿だと思いが、職員・スペースも限られており、電話連絡をいただければお伺いして相談を受けるなどの対応をしている。

田沢湖黒沢工業団地の有効活用による企業誘致を

質問 田沢湖黒沢工業団地への企業誘致について、今後の取り組みは。

答弁 サテライトオフィスツアーを10月、12月に実施し6社の首都圏IT企業が市内を回っていただき、進出を検討していただいている。様々な地域に繋がっていくIT企業のサテライトオフィスとしての仙北市の選択を増やす努力をしていく。

(西宮三春記)

市長が掲げた財政改革を どのように予算へ反映されるのか



議員 幸 晃 門 協 生 会 蒼

市長

これまでの事業・施策を評価し、費用対効果を検証したうえで予算化する



■黒字決算とはいうが歳入に見合った歳出に！

財政改革について

質問 9月定例会で令和3年度の決算認定されたが、その中の経常収支比率、財政力指数の最終数値と県自治体の平均値について伺う。

答弁 令和3年度の経常収支比率は93.2%であり、県内13市中2番目に高い。財政力指数は0.259%であり、県内13市中1番低い状況である。経常収支比率の理想は70%から80%と言われてい

る。秋田県市町村平均は、経常収支比率が87.7%、財政力指数が0.296%である。令和2年度の当市経常収支比率は95.8%だったので、2.6ポイントの改善となっている。

6ポイントの改善となっている。

質問 令和3年度の決算、監査意見等について見解を伺う。

答弁 ふるさと納税の代替財源と税収確保が課題との認識は、監査委員からの指摘に対して全く同意見である。

地方交付税が増額され、黒字決算にはなっているが、今後は減額が見込まれ、それに見合った歳出にする必要があると強く感じている。

質問 2040年問題について所見を伺う。

答弁 単純に言えば、当市にとっては2020年問題である。既に2040年問題に

直面している状況と考えている。この問題に対し、自宅等で手厚い医療を享受できる医療マースや、健康寿命の延伸を目的としたフレイル健診等の仕組みを令和5年度に着手するべき準備を進めている。

質問 国は地方自治体の財政上の課題とのことで、「デジタルの活用による自治体行政のスマート化を改善していく」とうたっているが所見を伺う。

答弁 自治体行政のスマート化についてはDX推進計画に基づき進めている。業務改善につながる決裁管理システムやオンライン申請、リモート窓口、SNSを活用した情報発信等の導入により、市民サービスのデジタル化が自治体行政のスマート化につながる。12月からLINEで個人向け生活関連情報の配信を始め、現在の登録者数は6,500人。今後も周知に努める。

来年度の予算編成について

質問 来年度予算に市長が掲げた財政改革がどのように反映されるのか伺う。

答弁 事務事業評価、施策評

価、部局の経営方針シートの提出等を実施しており、検証した上で予算編成していく。現状の不足額は26億円位であるが、除雪費を見込んで、不足額は35億円であり、その中には、除雪費が含まれていなかった。去年から比べれば15億円位は削っている。それでも、まだ足りない状況である。今までの事業の取り組みに、私がそれを全てカットして歳出に合わせるという、大

鈍を振るう必要があるが、できていない。市長がこれも駄目、それも駄目では、市役所内が機能しないという懸念もあり、しっかりと考えながら進めていきたい。

質問 予期できない事態に各局を超えた横断的マネジメントが必要となる。所管課はどこになるか伺う。

答弁 市長直轄部署は総務課、様々な要望への対応や実現に向けて動いているのは企画政策課である。現状の市役所組織のスリム化が必要と考えている。市民の皆さんに分かりやすい組織の再編を検討していきたい。

(小田島 広仁記)



蒼生会 高橋輝彦 議員

上下水道料金の値上げは時期、
上げ幅などを十分考慮すべき！

市長 下水道料金は令和5年9月1日から3割増にしたい

行財政改革について

質問 現状の事務事業の見直しを行ったようだが、特に重要視した点は何か。

答弁 費用対効果もあるが、何よりもその事業が市民の幸福度向上に繋がる事業であるかという視点を重視した。

質問 事業の見直しで、条件付き継続と段階的廃止と仕分けした事業はどのようなイメージなのか伺う。

答弁 条件付き継続は、ヒアリングして市民の幸福度に繋がる事業であれば補助するなど、条件を付して継続する事業である。段階的廃止は、仙北市としては廃止したいが、関係団体等の協議が必要であるなどの事業である。

上下水道料金改定について

質問 諮問機関の答申のとおり上下水道共に3割値上げした場合、どれくらいの増収を見込んでいるのか。

答弁 水道事業については1億194万5千円。下水道は5,946万3千円を見込んでいる。

質問 値上げはやむを得ないと思うが、すべての生活費が値上げされている現状を考

慮した改定時期、値上げ幅、段階的な値上げにするなど、じっくり検討するべきではないか。

答弁 タイミング的には非常に厳しい時期だが避けられない状況である。下水道料金は答申の令和5年9月1日から3割増を中途に検討を進め、水道料金は値上げ時期をずらすとともに、2カ年程度の段階的値上げを検討していきたい。

市民に分かりやすい財政状況の説明について

質問 広報誌の決算状況を見た市民から、「毎年黒字決算なのに何でじゃんこねえとか、財政厳しいってどういうこと？」とよく聞かれるが、もっと市の財政状況をわかりやすく説明する責任があるのではないか。

答弁 自治体の黒字は、民間企業の黒字とは違い、基金の取り崩しや借金も収入に取り組めることになっている。現在の仙北市の財政状況は、基金を取り崩さないで予算も組めないし支払いもできない状況にあり、基金からの繰入金合計額が財源不足額と言え

る。仙北市は、自由に使えるお金がほとんどなく、政策的経費や新たな事業ができないことが、「お金がない」や「財政が厳しい」という表現になる。

将来に持続可能な学
校適正配置について

質問 一昨年の6月に「統合の検討に入るべき状況」になっているとされた白岩小では、保護者間で角館小との統合について様々な意見が交換されている。また、角館小への就学指定校変更が増加する状況では、教育委員会が主導して統合に向けた草案を提示し、保護者からの意見を聞く形で進めた方が良いのではないか。

答弁 (教育長) 教育委員会では、地域住民の主体的な議論こそがよりよい学校教育に繋がる道と考えている。意見集約に向けた情報提供などのサポートは積極的に行っていく。統合を望む意見集約となった場合は、全体計画を待たずに協議を進めたいと考えている。



■統合がはっきりせず就学指定校変更が増加している白岩小学校

を希望してから、準備期間に3年は必要だと説明した根拠を伺う。

答弁 (教育長) 令和2年度の中川小の統合例によれば、統合の方向で意見集約されてから統合まで1年半だった。しかし、当時の関係者は、児童の交流事業や通学方法の検討、廃校行事など、スケジュール的にかなり厳しかったとのことから、少なくとも2年、できれば3年かけてしっかりと準備を進めることが望ましいと考えている。

(荒木田俊一 記)

総務文教常任委員会

総合給食センターの物価高騰対策により給食費は据え置き

11月定例会の総務文教常任委員会では、定年年齢引上げに伴う条例改正などについて審査されました。補正予算では、物価高騰対策などについて議論されました。

令和4年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主要内容

補正予算 第9号

移住支援事業費補助金	220万円	国 1/2 県 1/4 仙北市 1/4(地方創生推進交付金)
防災行政無線維持管理費	49万円	Jアラートに対応した次世代型に更新
給食センター管理運営費	397万円	燃料調整単価上昇等に伴う光熱費の増額補正
給食材料費	462万円	食料品価格高騰による食材費の増額補正

補正予算 第10号

ふるさと納税ふるさと便事業費	2億5,491万円	ふるさと納税寄付金の増額見込みに伴う返礼品や送料等の関係経費
ふるさと仙北応援基金積立金	4億円	ふるさと納税寄付金の増額見込みに伴う積立金の増額

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

◆債務負担行為補正について

質問 田沢湖庁舎LED照明賃貸借について

の内容は。(限度額421万円)

答弁 条件付き一般競争入札を検討している。契約後、作業が終了した翌月からリース開始となり、5年間リース会社の資産を借りる。その契約が終了した段階で市の所有となる。

◆総合給食センター

関連について

質問 管理運営費の増額

補正はいつごろまでの分を見込んでの金額なのか。

答弁 今年度末までの分を12月時点での燃料調整単価で試算しての金額である。

最近の月々の報告では、燃料調整単価が上昇中なので、更なる増額補正が必要となるのではないかと考えている。

質問 1日あたりの光熱

費はどれくらいなのか。

答弁 およそ18万7千円となる。衛生管理の面か



■リースによるLED化により経費削減が見込まれる田沢湖庁舎



■光熱費及び食材の高騰を増額補正で対応する総合給食センター

からも節約できるものではないので大変苦慮している。

◆ふるさと仙北応援基金について

質問 今年度のふるさと納税が好調な要因はどこにあるのか。また、実際に使用できる割合は。

答弁 ポータルサイトを増やしたことや返礼品を増やしたことにより、増加につながっていると考えている。経費を差し引くと約4割が実際に使用できる額となる。

市民福祉常任委員会

特別会計介護施設にしき園 今年度も一般会計から繰入れ(2,675万円)

11月定例会の市民福祉常任委員会では令和4年度一般会計補正予算、にしき園の特別会計補正予算、角館総合病院の病床削減案や東風の湯の指定管理者の指定案などが審査されました。

令和4年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

介護保険施設、障害者支援施設、保育施設への光熱費助成事業費	1,377万円	原油価格高騰対策として県と市が1/2ずつ負担し、光熱費を助成する費用
保育所等給食費価格高騰対策事業費	87万円	食料品価格高騰対策で私立保育所への給食費の助成
放課後児童対策事業費	327万円	マロンクラブの水道蛇口に取り付ける自動水栓購入費とマロンクラブの除雪委託料及びシルバー人材センターへの派遣委託料の増額費用
歯科診療所管理運営費	664万円	田沢湖歯科診療所の口腔外サクシヨンの更新及び歯科ユニット給水装置の修繕
介護保険特別会計繰出金	2,675万円	にしき園の利用者減少によるサービス収入減収等による補てん費用

令和4年度仙北市介護保険特別会計補正予算の質疑

一般会計から2,675万円繰入れすることについて
質問 にしき園の入所予定者がコロナ禍により入所できなかつたり、人件費増や光熱費増が繰入金
 の増額要因とのことだが今後の改善策は。

答弁 現在8名の入所準備を進めており、待機している方々も80数名いるので、入所率を向上させる努力をしていく。

質問 以前、にしき園の民営化を検討したが、今後の民営化は考えていないのか。

答弁 今のところ、民営化は考えていない。まずは直営を維持していく。



■ コロナ禍が終息し入所率の向上が待たれるにしき園

マロンクラブの水道蛇口に取り付ける自動水栓について
 質問 停電時にも利用可能か。
 答弁 市で購入し取り付けるモデルは電池式であるため停電時にも問題なく利用可能である。

一般会計補正予算の主な質疑

ここが知りたい
 議論のポイント

角館総合病院の病床数を改正することについての質疑

精神病床を8床削減し198床に縮小することについて

質問 8床削減してどのようなメリットがあるのか。

答弁 病床規模が200床未満になることで、診療報酬の算定において、減算の基準が緩和され加算条件が有利になるメリットや、薬品の購入制度が緩和されることなどにより増収が期待できる。

質問 病室は削減しないで定員を減少させることで病床数を減らすのが、例えば、2人部屋だった病室が1人部屋になっても差額ベット料は発生しないのか。

答弁 トイレと風呂がある1人部屋だけが個室料金であり、それ以外の病室については、仮に4人部屋を1人部屋にしても個室料金は発生しない。

仙北市民浴場 東風の湯の指定管理者の指定についての質疑

(株)おもてなし仙北への指定管理者の指定について

質問 東風の湯は、職員不足により一人にかかる負担が大きく多忙を極めている実態がある。市としてもしっかり把握し、指導・助言していくべきと思うがいかがか。

答弁 人材不足は指摘のとおりで大きな課題と認識している。所管課と指定管理者側が互いに問題点を抽出し、業務改善を進めて働いている方々に重い負担がかからないような取り組みが必要と考えている。

質問 東風の湯に限らず、公の施設の指定管理については、維持管理していくだけではなく、創意工夫し、どのようにして発展させるのか、という観点を持ち運営するべきではないか。

答弁 今後も地域の方々に継続してご利用いただくためにはどうしたらよいかなどの協議を行うなど、市側と指定管理者側が情報共有して取り組んでいきたい。

産業建設常任委員会

上下水道料金改定について水道運営審議会・下水道使用料等検討委員会より答申書提出される!

産業建設常任委員会では令和4年度一般会計補正予算などについて審査しました。地域おこし協力隊事業費、農業委員会総務費、市有林造林保育費、森林総合研究所造林保育費、上下水道費等が案件です。

令和4年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

地域おこし協力隊事業費	△178万円	4月から募集も9月まで応募なく減額、10月より採用
農業委員会総務費	31万円	農業委員、農地利用最適化推進委員の費用弁償、令和3年度決算後の11月に未払い判明による補正
農地集積加速化基盤整備事業費	111万円	生保内南地区の整備計画変更による補正
農業水利管理体制強化支援事業費	△43万円	八津、鎌足地区の面積要件による減額
ため池等整備事業費負担金	△300万円	国庫事業採択による
花葉館施設整備事業費	451万円	源泉ポンプのオーバーホール等
市有林造林保育費	△357万円	仙北市森林経営計画見直しにより搬出間伐を予定していたが延期により減額
森林総合研究所造林保育費	△171万円	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターとの分収林契約地の保育間伐、除伐を行う予定であったが入札不調により減額

ここが知りたい 議論のポイント

産業建設常任委員会での主な質疑

上下水道料金改定について

質問 下水道の料金改定について、諮問機関である下水道使用料等検討委員会から答申を受けたとのことだが、

料金改定は、令和5年9月1日で確定なのか、またその日付となった理由について伺う。

答弁 答申では、下水道事業の現状から一刻も早い値上げが必要であることから、令和5年9月1日が望ましいという結果になった。委員会からは、市民に対して、わかりやすい資料を作成し、説明を行い周知と理解を得ることが必要だとの意見があった。

【意見】 食料品等、物価が高騰しており、さらに電気、ガス料金等の大幅な値上げが検討されており、市民生活を圧迫している。現状をしっかりと認識して、市民から理解を得られるように、慎重に検討して欲しい旨の意見があった。また、

水道料金について、再来年度以降、再度検討するという



■今後の上下水道料金改定を検討している上下水道課の窓口



■予定した間伐などが実施されず減額された森林整備事業

答申についても、慎重に検討して欲しい旨の委員からの意見があった。

仙北市かたまえ山森林公園・山の幸資料館・森林学習資料館の指定管理について

質問 山の幸資料館の展示物はどのような状態か、また、入館者の状況はどうか。

答弁 展示物と入館状況については、現在は老朽化してきて雨漏りも発生するような状態のため、一般の方に解放していない。展示物は雨漏り等からの影響のないよう保存している。

【意見】 建築当時に地元の方から寄付していただいた物が展示されている施設のため大切に扱ってほしい。雨漏りが発生している状態で指定管理者へ施設の管理をお願いするというのは市としてよろしくないのではないかと。破損等が起こって責任問題が起こる前に最低限の修繕等は行って欲しいとの委員からの要望があった。

いきいき広場

県立角館高等学校
飾山囃子部

第55回県高校郷土芸能・
日本音楽合同発表会

郷土芸能部門

2年連続最優秀賞



見事2年連続で最優秀賞を受賞し、今夏、鹿児島県で開催される第47回全国高等学校総合文化祭へ出場を決めた角館高校飾山囃子部の皆さんにインタビューしました。

2年連続で全国高校総合文化祭出場を決めた感想を聞かせてください。

毎日の練習を妥協することなく、全員で頑張ってきた成果を発揮できたことに大きな達成感を感じています。

曲の構成、囃子の迫力をどう伝えるか、踊りのフォーメーション等も、これまでで一番とっていいほどこだわり、みんなで作り上げてきたので、評価していただけたことに非常に嬉しい気持ちでいっぱいです。

地元イベント等にも出演されていますが、心がけていることはありますか。

見ていただいている方たちに角館のお祭りの迫力が十分に伝わるように、できるだけお客様との距離を近



今夏、鹿児島県での全国大会出場が決まった角館高校飾山囃子部の皆さん(1・2年生)

くして演舞したり、掛け声の大きさや明るい表情に気をつけたりなど、楽しんでいただけたために心がけていることはたくさんあります。何より、部員一人一人が全力でその場を楽しんでいることが大切だと思います！
今後の目標をお聞かせください。
一番の目標は、今夏に行われる全国という大舞台で、お客様を魅了することです。一人でも多くの方の心に響く演舞をし、実際にお祭りに参加しているかのような臨場感を感じていただきたいです！角館の伝統である飾山囃子を、2年連続で秋田県代表としてパフォーマンスできることに誇りと感謝の気持ちを持ち、これからも部員一丸となって練習に励んでいきます。応援、よろしくお願いたします。

(西宮三春記)

きたうらバレーボールジュニアスポーツ少年団 秋田県大会初優勝 祝 全国大会出場 (静岡県)

私たち、きたうらバレーボールジュニアスポーツ少年団は、2007年(平成19年)に発足し、毎週火・金・日曜日神代市民体育館において活動しており、現在は市内小学校2年生から6年生13名で活動しています。バレーボールという競技を通じて友情を深めるとともに、協調性を養い、礼儀や規律を守り、一人一人が成長してくれることを目的としています。

去る11月19日、20日由利本荘市ナイスアリーナで開催された、第20回全国スポーツ少年団バレーボール大会秋田県大会において、初優勝することができました。これもひとえに、家庭、学校、地域の皆さまのご協力のおかげだと思えます。

来る3月24日から27日にかけて、全国スポーツ少年団バレーボール交流大会が静岡県掛川市・袋井市で開催されます。秋田県代表として皆さまの期待に沿えるよう、日頃の練習の成果を発揮し団のスローガンである「完全燃焼」目指し、指導者、団員、保護者一丸となって全国の舞台で頑張りたいと思います。応援よろしくお願いたします。

(大石美幸監督)



未来へアタック!

人事案件 (敬称略)

雲沢財産区管理委員

阿部雄咲 (75歳)

仙北市角館町雲然下町屋六一
(在期) 令和4年12月1日~令和8年11月30日

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

この度も「仙北市議会だより」をご覧いただきありがとうございます。ありがとうございます。

11月定例会は来年度の当初予算に除雪費を含むことや、市長答弁も「検討します。」だけではなく、「やります。」という前向き言葉があり、充実したものであったと思います。

そして、その内容を皆さんに分かりやすくお伝えするための市議会だよりだと思っております。(私は)まだまだ不慣れで、悪戦苦闘中です。特に「一般質問」については限られたスペースに収めるのが難しく、質問、答弁を皆さんにしっかりとお伝えできていない不安です。

更に充実した議会だよりにするためにも、皆さんからのご意見、ご感想、ご指摘等をお聞かせいただければ幸いです。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
(小田島広仁記)